





日本史 B 問題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は 18 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. これは日本史 B の問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認のうえ、解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合し確認すること。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆又はシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ちかえらないこと。
11. この問題用紙は必ず持ちかえること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	  

〔 I 〕 次の史料A，史料Bを読み，以下の設問に答えなさい。

史料A

政府は の建議を容れて、茲に金を本位とする統一的なる貨幣制度を採用することに決定したるが、一方明治二年以来建設中なりし大阪造幣寮は、工事全く成り、製造試験も良結果を収めしを以て、四年二月十五日開業し、著々新貨幣の鑄造を行ひ、斯くして準備全く整ひたるを以て同年五月十日愈々「新貨幣条例」を發布するに至れり。(後略)

出典：『明治大正財政史』第13巻

史料B

為替会社の失敗後民間に於ては所謂合本結社の組織に依り、銀行を営まんとするもの漸く出づるに至りしが、政府は容易に之れを許可せざりき。蓋し銀行に関する制度を樹立するにあらざれば、また為替会社の轍を踏むことあるべきを懸念し、新に条例を制定して完全なる銀行制度を創始せんと欲したるを以てなり。他方当時政府の財政は益々窮乏し、明治元年乃至五年の間に発行せし紙幣は八千余万円に上る有様なりしを以て、之が整理の爲めにも金融機関の設置は必要欠くべからざる所なりしなり。茲に於てか政府は当時 に在つて理財に関する政策を調査中なりし の建議を容れ、同国の制度に倣つて国立銀行を起すことに決し、明治五年十一月甫めて国立銀行条例を布告するに至れり。旧国立銀行条例即ち之れなり。該条例は通計二十八条、百六十一節より成り、其の目的たるや、国立銀行をして其の株金の十分の六迄は、払込みたる政府発行の紙幣を以て金札引換公債証書に引換へしめ、該公債を担保として政府に差入れ、之れに対して銀行紙幣を發行せしむることに依り、一挙にして政府紙幣の銷却(注1)と金融の疎通とを図らんとせるものにして、銀行紙幣は正貨を以て引換へ、其の担保の公債証書の償還に従て之れを銷却せんとする計画なりき。(中略)

政府は明治九年八月改正国立銀行条例を布告し、利息四分以上の公債は総て之れを銀行紙幣の担保と爲すを得せしめ、正貨兌換の制を廃止して通貨兌換と爲し、且つ銀行紙幣發行高を増加して株金の十分の一迄(注2)は公債証書を担保とし

て銀行券を発行することを得せしめ、残る十分の二を以て兌換準備に充てしむるに至りしものとす。斯くて条例改正の結果は国立銀行の営業が頗る有利となり、勢ひ之れが設立の機運を醸成したるのみならず終に其の濫設の弊をすら馴致せんとするに至りしかば政府は之れが抑制の必要を認め、更に条例を改正して紙幣の発行額を制限し、或は新設銀行の資本金を減少せしめ、或は資本金額に対する銀行紙幣発行額の割合を低下せしむる等諸般の方法を講じたるが、国立銀行設立の勢は之れを阻止すること能はずして、遂に明治十二年末には其の総数百五十三行の多きに達する状態なりしを以て政府は爾後絶対に其の設立を許可せざることとせり。而して此の如き国立銀行の増加は、期せずして不換紙幣の過多となり、其の結果は自ら紙幣下落の勢を助長して物価は騰貴し、公債証書は下落するに至りしため、政府に於ては更に紙幣整理を以て最大の急務なりと認め、先づ其の第一著手として、明治十五年日本銀行を創立し、(後略)

(*)

出典：『明治大正財政史』第 17 卷

(注 1) 銷却^{しょうきやく}…消却と同じ意味。

(注 2) 「株金の十分の一迄」は「株金の十分の八迄」の誤り。

※難解な漢字にはルビをふった。

問 1 空欄 に入る人物はだれか。漢字で記しなさい。

問 2 空欄 に入る国名を記しなさい。

問 3 下線部(ア)には、一時期、御雇外国人が支配人として指導していた。その人物はだれか。その名前を記しなさい。

問 4 下線部(イ)により新硬貨がつくられたが、その単位を 5 字以内で記しなさい。

問 5 下線部(ウ)について、明治政府が由利公正の建議によって発行した最初の政府紙幣は何か。漢字で記しなさい。

問 6 下線部(エ)の国立銀行は、英語の表現を直訳したものである。それをカタカナで記しなさい。

問 7 下線部(オ)によって東京に設立された最初の国立銀行の中心人物で、総監役および頭取を務めたこともある人物はだれか。漢字で記しなさい。

問 8 下線部(オ)によって設立された国立銀行はわずかに四行にとどまった。その理由を史料の内容から 60 字以内で述べなさい。

問 9 下線部(カ)によって設立された国立銀行のうち、華族によって設立され、1,700 万円余の資本金をもった国立銀行名は何か。漢字で記しなさい。

問10 下線部(キ)の日本銀行の設立を建議した人物はだれか。漢字で記しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文を読み、以下の設問に答えなさい。

世界に大惨禍をもたらした第二次世界大戦が終わり、日本はGHQの占領下で民主化の歩みを始めることになる。1947年5月3日に 内閣の下で施行された新憲法は、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義を三大特色としたもので、天皇は旧憲法のような国家・政治に関する権能をもたず、日本国及び日本国民統合の象徴となった。^(ア)さらに国民の代表者から成る国会は、国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関となった。この新憲法の成立によって、それにとまなう諸法令を改正する必要が生じ、その施行に関連して多くの改革がなされた。憲法の規定により、都道府県知事は従来の任命制に代わる住民の直接選挙による公選制となり、国の官吏としての後見監督的な知事のあり方が大きく変化した。そして、1888年に制定された市制・町村制、1890年に制定された府県制などの^(イ)関係法令の内容が改められ、整理統合されて地方自治法が制定された。

また、国民生活のすみずみまでを統制してきた内務省が解体され、さらには1947年に警察法が公布され、 と の二本立てとなり、新たな警察制度が創設された。一方、憲法が個人を尊重することを基本とし、男女平等の原則が規定されたことにより、民法の家族法原理にも大きな変更がもたらされた。^(ウ)従来の家父長的家族制度が大幅に改められ、夫婦の権利平等が確立された。この他、労働権の確立や教育制度の改革によって、戦後の日本社会は、大きく変化するようになったのである。^(エ)

しかし、こうした戦後の民主化政策は、東西冷戦の深刻化と朝鮮戦争の勃発によって、^(オ)変更を余儀なくされる。1950年9月には、 内閣の下で、レッドパージ方針が決定され、政府機関、新聞報道・産業部門で共産党員や組合指導者が追放された。それに先立ち、8月には警察予備隊が設置されて日本の再軍備が始まったが、これらの動きの中で、戦後の民主化も後退を余儀なくされた。警察制度も改革され、都道府県警察に一本化されたものの、その実態は中央集権的な色彩の強いものであった。地方自治の分野でも、シャープ勧告に基づく^(カ)税財政改革が中断される一方、国家主導の市町村合併が進められ、いわゆる「昭和の大合併」によって、自治体数は大幅に減少することとなる。

しかし、これらの動きは、1950年代半ばから1970年代初めにかけての日本の急激な経済成長によって、再び変化していく。急速な工業化は、地域社会の変貌を余儀なくさせ、東京や大阪など大都市圏への急激な人口集中と地方都市の衰退は、1970年代初頭に過疎と過密という問題を生じさせた。とくに、それら都市問題への住民の抗議や公害問題に対する住民運動の活発化は、政府に対策を迫り、公害対策や住民福祉の更なる向上といった新たな問題についての政策が求められることとなった。こうした自治体の政策的な取り組みは、今日の地方分権改革につながるものでもある。このように、経済・社会の変化は、法や制度のあり方に大きな影響を与えることとなるのである。

問 1 文中の空欄 に入るものはどれか。A～Eの中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

A 東久邇宮 B 幣原 C 片山 D 吉田 E 芦田

問 2 下線部(ア)に関連して、大日本帝国憲法下における天皇の記述として正しいものはどれか。A～Eから1つ選び解答欄にマークしなさい。

A 政府は、神道を中心とした国民教化をめざし、神武天皇以来の「創業の始」に立ち返るため、神社神道の普及に力を注ぎ、大日本帝国憲法で靖国神社を別格官幣社に位置づけた。

B 天皇は、大日本帝国憲法上、広範な大権を保持していたが、それは無制限ではなく、憲法の条文に従って行使されなければならないと明記されていた。

C 皇位の継承については、今日とは異なり、皇室典範によって女性天皇の継承も認められていた。

D 大日本帝国憲法では、天皇は神聖不可侵とされて広範な権限を有していたが、行政各部の制定・官吏の任免権については、内閣総理大臣が保持していた。

E 帝国議会は、~~貴族院と衆議院の両院からなり~~、首相の任命などの権限をもっていた。

問 3 下線部(イ)に関連して、これに先だって制定された地方自治関連法令ではないものはどれか。A～Eから1つ選び解答欄にマークしなさい。

- A 郡区町村編制法 B 戸籍法 C 府県会規則
D 地方税規則 E 都制

問 4 文中の空欄 に入る語句の組み合わせとして正しいものをA～Eから1つ選び解答欄にマークしなさい。

- A 都道府県警察—自治体警察
B 国家地方警察—都道府県警察
C 国家中央警察—国家地方警察
D 国家地方警察—自治体警察
E 都道府県警察—市警察

問 5 下線部(ウ)に関連して、戦前の民法と家族制度の記述として誤っているものはどれか。A～Eから1つ選び解答欄にマークしなさい。

- A 1898年の民法の施行により、一夫一婦制が確立した。
B 伝統的な家制度を存続させ、戸主と長男の権限が大きいなど、儒教的色彩の強いものであった。
C いわゆる民法典論争を経て、フランス風の自由主義的な家族制度が確立された。
D 相続にあたっては、妻と子の均等分割相続は認められず、戸主と長男の家督相続制が基本とされていた。
E 明治初期から着手された、民法など近代的諸法典の編纂には、フランスから招いた法学者ボアソナードら外国人の助言を受けた。

問 6 下線部(エ)に関連して、以下の内、この時期の教育改革とは関係ない事項はどれか。A～Eから1つ選び解答欄にマークしなさい。

- A 民間情報教育局 B 教職追放 C 教育勅語の廃止
D 教育委員会法の公布 E 大学令の公布

問 7 下線部(オ)に関連して、以下の文章の内、正しいものはどれか。A～Eから1つ選び解答欄にマークしなさい。

- A アメリカと西ヨーロッパ諸国は、共産主義勢力との対決姿勢を明確にし、1949年に北大西洋条約機構(NATO)を結成して、翌年には朝鮮半島にNATO軍を派兵した。
- B この冷戦下、中国の国共内戦は共産党の勝利に終わり、毛沢東を主席とする中華民国が成立した。
- C この冷戦下、アメリカと韓国は米韓相互防衛援助協定を結び、それに対抗して、北朝鮮と中国も中朝友好同盟相互援助条約を締結して激しく対立していた。
- D 1946年にチャーチル前英国首相が行った「鉄のカーテン」演説は、ヨーロッパにおける東西対立の顕在化を象徴したもので、1947年に発表されたトルーマン・ドクトリンとあいまって、ソ連封じ込め政策につながった。
- E 朝鮮戦争は、1953年に終戦を迎え、朝鮮半島は北緯38度線以南の大韓民国と以北の朝鮮民主主義人民共和国に分断された。

問 8 文中の

4

 の空欄に入るものはどれか。A～Eの中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 片山 B 吉田 C 石橋
D 鳩山 E 池田

問 9 下線部(カ)に関連して、シャウプ勧告に関する記述として誤っているものはどれか。A～Eから1つ選び解答欄にマークしなさい。

- A この勧告は、アメリカの財政学者であったシャウプ教授を団長とする税制調査団によって行われた。
- B この勧告には、ドッジ・ラインに基づく財政運営を税制面から裏付ける意味があった。
- C 直接税中心主義を採用して、所得税については累進制を高めるとの発想を導入した。
- D シャウプ勧告に基づき、都道府県・市町村の税収の不均衡を是正するため平衡交付金制度が導入された。
- E シャウプ勧告による改革は、富の偏在を解消するために法人課税を強化するものであった。

問10 下線部(キ)の時期の出来事として関係のない事項を、A～Eから1つ選び解答欄にマークしなさい。

- A 日中国交正常化
- B ニクソン・ショック
- C 労働関係調整法の制定
- D 沖縄返還
- E 環境庁の設置

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

第一次世界大戦によるヨーロッパ列強諸国のアジア市場への輸出減少は、日本に綿織物を中心とした繊維製品の輸出増加の機会を与え、繊維産業は活況を呈することになる。^(ア)また世界的な船舶不足を背景に、造船業および関連する鉄鋼業も好況となり、日本は大戦景気に沸いた。しかしこの好景気も、大戦終結およびヨーロッパ諸国の復興とともに後退する。^(イ)1920(大正9)年には株式市場の暴落を契機に戦後恐慌が起り、さらに関東大震災で大きな打撃を受けた日本経済は、不況に悩まされることになる。そうした状況のなか、1927(昭和2)年3月に金融恐慌が起った。^(ウ)この恐慌に対して政府は、モラトリアム(支払猶予令)や日本銀行による救済融資などで対処したが、^(エ)大戦景気で過剰なまでに増大した生産設備の整理は進まず、不況は慢性化した。

こうしたなかで、1917(大正6)年より禁止されていた金輸出の解禁を望む声が高まってきた。^(オ)金輸出の解禁は、円の国際的信用を取り戻し、また為替相場を安定させて貿易を活発化させる一方で、円高をもたらして日本の輸出品を割高にするものであった。しかしそれに伴うデフレと不況は、生産性の低い企業を淘汰し、過剰な生産設備を整理し、日本の産業の体質を改善するとも考えられた。^(カ)金輸出の解禁は1930(昭和5)年に旧平価で実施されるが、ほぼ時を同じくして起った世界恐慌により、日本は昭和恐慌と呼ばれる深刻な恐慌に見舞われた。企業の倒産があいつぎ、^(キ)産業の合理化はある程度まで進んだが、賃金引下げや失業者の増加、農村の困窮などにより、社会不安が増大した。

以上のような状況を受けて、1931(昭和6)年に成立した犬養毅内閣の高橋是清蔵相は、金輸出を再禁止し、また円の金兌換を停止した。円相場の大幅な下落は、^(ク)産業合理化の進んだ日本の諸産業に輸出拡大の機会を与えた。しかし、世界恐慌からの脱却をはかっていた欧米諸国は、^(ケ)極端な円安のもとでの日本の輸出拡大を、国家ぐるみの不当廉売(ソーシャル・ダンピング)として非難し、貿易摩擦が起った。ほぼ時を同じくして勃発した満州事変および満州国の建国によって^(コ)国際社会の非難を受けた日本は、国際政治(外交)、国際経済の両面で、孤立を深めることとなった。

問 1 下線部(ア)に関連して、1914(大正3)年に大阪紡績と三重紡績の合併により誕生し、6大紡績会社の一角を占めた紡績会社はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 大日本紡績 B 大阪合同紡績 C 日清紡績
D 鐘淵紡績 E 東洋紡績

問 2 下線部(イ)に関連する説明として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 機械化が進んだ結果、工業労働者数が減少し、なかでも男性労働者が急減した。
B ドイツからの輸入が途絶したため、薬品、染料、肥料などを製造する化学工業が急成長した。
C 物価が下落する一方で賃金は上昇したので、工業労働者の生活は豊かになった。
D 日本の総生産額に占める工業生産額の割合は急速に増大したが、農業生産額を超えることはなかった。
E 成長する京浜工業地帯の工業資本家の利害を政策に反映すべく、団琢磨を初代理事長として日本経済連盟会が設立された。

問 3 下線部(ウ)に関する説明として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A この恐慌のきっかけとなった蔵相の失言で経営状態の悪化を指摘されたのは日本勧業銀行である。
B この時の首相は加藤高明、蔵相は片岡直温である。
C これをきっかけに中小銀行の整理・合併が進み、5大銀行(三井、三菱、住友、安田、第一)による金融支配が強化され始めた。
D 経営破綻に陥った鈴木商店に対する巨額の不良債権をかかえた朝鮮銀行を救済するため、特別融資緊急勅令案が立案されたが、貴族院で否決された。
E この時、手当の大幅削減を発表した鐘淵紡績の各工場で大争議が起こった。

問 4 下線部(エ)に関して、1927(昭和2)年4月22日から3週間にわたって実施された支払猶予令を発した際の首相はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 若槻礼次郎 B 加藤高明 C 浜口雄幸
D 田中義一 E 清浦奎吾

問 5 下線部(オ)について、1917(大正6)年に金輸出を禁止した際の首相は寺内正毅だが、寺内内閣に関する説明として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 社会主義者や無政府主義者を弾圧したが、工場法の公布などの社会政策的配慮も行った。
B 外国製の軍艦や兵器の輸入をめぐる汚職事件(ジーマンス事件)をきっかけに退陣した。
C 米価高騰によって全国的に広がった民衆騒擾(米騒動)を武力で鎮圧し、内閣総辞職を余儀なくされた。
D 総力戦のために国家総動員法を制定した。
E 大戦景気を背景としつつ、鉄道網の拡充や高等学校の増設などの「積極政策」を推し進めた。

問 6 下線部(カ)について、この時の首相ないし蔵相についての説明として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A この時の首相は「ライオン宰相」と呼ばれた。
B この時の蔵相は日本生命社長を経て政界入りした。
C この時の首相は大蔵省から政界に入り、蔵相、内相を歴任した。
D この時の首相は後に統帥権干犯問題で右翼青年に狙撃された。
E この時の蔵相は後に血盟団員によって暗殺された。

問 7 下線部(キ)に関連して、この恐慌が発生した時の政府が行った施策はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 治安強化のため治安維持法を改正した。
- B 公共土木工事に農民を従事させ、現金収入を得させる時局匡救事業(救農土木事業)を行った。
- C 労働者の団結権・団体交渉権・争議権を保障する労働組合法を制定した。
- D 重要産業統制法を制定し、指定産業での不況カルテルの結成を容認した。
- E 農山漁村経済更生運動を展開し、困窮する農民の救済をはかった。

問 8 下線部(ク)に関連して、金輸出再禁止以降 5 年間の高橋財政下における日本の産業についての説明として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 輸出は拡大したものの、生産が世界恐慌以前の水準に回復することはなかった。
- B とくに機械の輸出は拡大がめざましく、イギリスを抜いて世界第一位の規模となった。
- C 高橋蔵相が採用した緊縮財政による軍事費の削減によって、軍需関連産業は低迷した。
- D 金属・機械・化学工業などの重化学工業がめざましく発展し、1933(昭和 8)年には生産額で繊維工業を上回った。
- E 1934(昭和 9)年、八幡製鉄所を中心として鉄鋼会社の大合同が行われ、純民間企業の日本製鉄会社が生まれ、鋼材の自給が達成された。

問 9 下線部(ケ)について、世界恐慌による経済的混乱からの脱却がはかられたころの欧米諸国で見られた動向として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A イギリスは関税を撤廃し自由貿易政策を推し進める一方で、植民地との関係を強化し、それへの輸出拡大による景気回復をめざしていた。
- B ドイツでは、ナチ党を率いたヒトラーが政権を獲得し、国家社会主義の思想にもとづく経済政策を行った。
- C アメリカでは、民主党のフランクリン・ローズヴェルト大統領が財政支出による一連の景気刺激策をとって危機を乗り越えようとした。
- D ソ連では、一国社会主義を唱えるスターリンが計画経済を実施し、独自の中央集権的経済体制を築いていた。
- E イタリアでは、ファシスタ党(ファシスト党)を率いたムッソリーニが一党独裁の全体主義体制を確立していた。

問10 下線部(コ)を契機として排外主義的・軍国主義的風潮が強まるなか、多くの無産政党は右翼化し、あるいはファッショ化していった。これに関連して、赤松克麿を中心に1932(昭和7)年に結成された政党はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 社会民衆党 B 日本無産党 C 大日本政治会
- D 社会大衆党 E 日本国家社会党

〔IV〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。

インドで生まれた仏教はやがて中国や朝鮮半島に伝わり、それらの地域においても保護され普及していった。わが国への仏教の伝来は6世紀中頃であるといわれている。当時、わが国では豪族間の勢力争いが激しく展開されていたが、仏教を受容する蘇我氏が権力を握るようになると、仏教の影響力は高められていった。その後、天皇などの権力者による庇護もあり、仏教は飛鳥や斑鳩地方にある寺院^(ア)を中心に一大勢力を形成するに至った。

平城京への遷都に始まる奈良時代になると、仏教は権力者との結びつきを一層強め、その保護の下、鎮護国家的な性格を強めていった。と同時に仏教に対する厳しい統制も行われるようになった。仏教の影響力が強まるなかで、仏教の戒を授けられる天皇も現れるようになった。聖武天皇はそのなかの一人である。彼は国分寺建立の詔を発し、諸国に国分寺・国分尼寺の創建を促し、国家の平安を祈らせた。□1□は総国分寺と称され、華嚴宗の総本山としても知られている。また、この時代には仏教についての理論的な研究も進められ、南都六宗と呼ばれる諸学派が形成されるようになった。

□2□天皇の治世下になると、最澄と空海が入唐し、仏教の研鑽を積んだ。彼らは帰国後にそれぞれ天台宗と真言宗を開いた。空海は密教を学んで帰国したのに対して、最澄は密教についての知識をあまり深く持つことなく帰国した。その後、最澄の弟子である□3□達が新たに入唐し、密教を学んで帰国したことから、天台宗が広まるにつれ密教は盛んになっていった。やがて撰閲時代になると現世利益を求めて天皇や貴族などを中心に加持祈禱が盛んに行われるようになった。

他方、奈良時代に生まれた、仏と神は本来同一であるという神仏習合の思想は、平安時代において一層強まってきた。そもそもわが国では、仏教伝来以前には、神々を信仰の対象としていた。しかし仏教が普及していくなかで、日本固有の神々の信仰と仏教の信仰が融合するようになり、神仏習合の思想が生まれるようになった。^(イ)やがて神は仏の化身であるとする本地垂迹説も生まれるに至った。

時が進むに従って、人々の間に現世への不安が強まっていった。この不安を背景に、浄土教が徐々に広まった。浄土教とは、阿弥陀仏を信仰し、来世において極楽浄土に往生しようとする教えのことである。貴族や庶民など多くの人々がこの信仰によって救われるようになったのであるが、この浄土信仰は 4 によって確立されたといわれている。彼は観想念仏を理論体系化した『往生要集』を著したことでよく知られている。浄土信仰は末法思想が高まるなかで強い影響力を持つようになっていった。

鎌倉時代になると、ただひたすら念仏をとさえれば誰でも必ず救われるという専修念仏の教えを説いた浄土宗が勢力を拡大してきた。また同じ浄土系ではあるが、心の中でひたすら阿弥陀仏の救いを信じることで極楽往生できると説いた浄土真宗も勢力を増してきた。さらに、この時代においては、念仏を唱えながら踊るといった時宗、題目を唱え仏法の真髄は法華經にあるとする日蓮宗、座禅を重視する臨済宗・曹洞宗等々、新しい諸種の仏教^(ウ)が支持され、武士や庶民の間に普及していった。

浄土真宗は一時急速に勢力を拡大したものの、やがてその勢いを失ってしまった。しばらくの間低迷状態が続いていたが、室町時代に現れた 5 の活躍によってその勢力は急速に回復し、拡大した。彼は「御文」を通じて教化活動を展開したことでよく知られている。なお、同宗派は一向宗ともいわれている。

またこの時代の末期には、幕府によって臨済宗を対象に五山の制度がつけられた。室町時代において、その制度の整備と体系化が行われ、同宗は大きな影響力を持つようになったものの、幕府の衰退とともにその勢いは衰えてしまった。

ところで、わが国においてはキリスト教の布教が16世紀中頃から行われるようになった。この布教によってキリスト教の信者は九州北部地域を中心に拡大していった。時の権力者はこの布教を認めていたが、やがて豊臣秀吉はその容認を翻し、バテレン追放令を出して宣教師の国外追放を命じた。さらに、江戸時代になると、徳川秀忠の下で禁教令によりキリシタンの国外追放^(エ)が行われた。こうしてわが国においては、キリスト教は禁止されることになった。

禁教が強化される過程で、キリスト教徒ではないことを証明させるために、民衆を寺院に檀家として所属させる寺請制度^(オ)が設けられ、宗門改めが実施された。これによって仏教への転宗が強制されることになり、ここに仏教は不動の地位を獲得するとともに、仏教を通しての民衆支配が推し進められることになったのである。なお、仏と神の習合については明治時代における神仏分離令まで続くことになる。

問 1 下線部(ア)について、聖徳太子が建立したとされる寺院はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|-------|--------|-------|
| A 法興寺 | B 中宮寺 | C 薬師寺 |
| D 広隆寺 | E 百済大寺 | |

問 2 空欄 にあてはまるものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| A 元興寺 | B 東大寺 | C 法華寺 |
| D 興福寺 | E 大安寺 | |

問 3 空欄 にあてはまるものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|------|------|------|
| A 平城 | B 醍醐 | C 清和 |
| D 嵯峨 | E 桓武 | |

問 4 空欄 にあてはまるものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|------|------|------|
| A 円仁 | B 無住 | C 忍性 |
| D 慈円 | E 貞慶 | |

問 5 下線部(イ)について、最初の神道理論とされる伊勢神道を創始した人物は誰か。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 吉田兼俱 B 山崎闇斎 C 吉川惟足
D 度会家行 E 北畠親房

問 6 空欄 にあてはまるものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 良源 B 明恵 C 源信
D 空也 E 鎮源

問 7 下線部(ウ)について、以下の結びつきのなかで、相互の関連性から見て誤っているものがある。それはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 浄土宗 — 法然 — 知恩院 B 時宗 — 一遍 — 久遠寺
C 臨済宗 — 栄西 — 建仁寺 D 浄土真宗 — 親鸞 — 本願寺
E 曹洞宗 — 道元 — 永平寺

問 8 空欄 にあてはまる人物は誰か。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 顕如 B 日親 C 覚如
D 蓮如 E 存如

問 9 下線部(エ)について、マニラに追放された元明石城主は誰か。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 高山右近 B 大友宗麟 C 細川忠興
D 大村純忠 E 有馬晴信

問10 下線部(オ)について、幕府が行ったこととして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 所属先の末寺と本山の関係を断つ法令を發布し、寺院を通じての幕府による民衆支配を強めた。
- B 仏教のみを宗教として認め、政治批判や風俗を乱すことなどをしない旨の書面を所属する寺院に提出させた。
- C 全ての民衆に信仰調査を行い、踏絵を強制した。そして仏教以外の宗教を禁じ、寺院に強制的に所属させた。
- D 民衆を寺院に所属させるとともに、旅行や結婚などの際に必要とされる身許証明書を所属する寺院に発行させた。
- E 寺院に所属することを拒否した者に対し重い刑罰を科す一方で、寺院の僧に対しては教義を深める旨の通達を出した。